

第33回 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会

ランチョンセミナー6

「これからの日本に求められる コンチネンスケアの確立を目指して」

ユニ・チャーム メンリッケ株式会社

“排泄とは、生きるために必要な機能です。人間の尊厳を護り生き方を支える排泄ケアは、
生きることへの意欲と回復力、自律を支えることに繋がります”

排泄ケアサポートセンター ウェルビーイングオフィスK 代表 梶原敦子様

“看護師の排泄ケアに対する認識を高め、ケアの継続が可能なしくみづくりが必要”

聖路加国際大学大学院 看護学研究科博士後期課程 看護管理学専攻 渡邊千登世様

定員70名

日時：2016年 **2月20日**（土）12:40～13:30

会場：「甲府富士屋ホテル」 カトレア

<http://www.kofufujiya.jp/access/> TEL：055-253-8111



基調講演：

「これからの日本に求められる
コンチネンスケアの確立を目指して」
～病院から地域へCST(コンチネンスサポ-トチーム)
がケアをつなぐ～

ユニ・チャームメンリッケ株式会社
営業企画部 TENAアカデミー 部長 佐野敦子

ランチョンセミナーへのご入場には、整理券が必要となります。
先着順にて定員になり次第、受付を終了させていただきますのでご了承ください。

- 配布日時：2月20日（土）8：00～12：15
- 配布場所：2階専用受付（「ホワイエ」近く）

共催：第33回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会/
ユニ・チャーム メンリッケ株式会社

